

まちの整備と発展へ 68億円

30年度の当初予算が3月5日から15日までの会期で開かれた議会定例会3月会議で議決され、一般会計と特別会計、企業会計の総予算額は68億5283万5千円となりました。

一般会計は、48億1500万円で、前年度(平成29年度)と比較して1400万円(0.3%)の増額となりました。

主な事業と予算額 (新は新規事業)

投資事業	主要事業
■平泉スマートインターチェンジ整備事業…………… 4億6714万円	■中山間地域等直接支払制度事業…………… 6681万円
■町道整備事業(祇園線、ねずみ沢線)…………… 2億3032万円	■多面的機能支払交付金事業…………… 4995万円
■史跡保存修理事業(無量光院跡、観自在王院跡)……… 7990万円	■医療費助成(重度、こども医療、妊産婦、ひとり親、町単独) …… 4745万円
■発掘調査事業(祇園I遺跡、町内遺跡群、志羅山遺跡)……… 4787万円	■東北観光復興対策交付金事業(4事業)…………… 4058万円
■橋梁長寿命化事業(橋梁点検、工事)…………… 4141万円	■予防接種事業…………… 2265万円
■小学校、中学校施設環境整備工事…………… 2340万円	■がん等の検診事業…………… 1592万円
■旧小島小学校解体工事…………… 1500万円	■放課後児童対策事業…………… 1455万円
■浄化槽設置整備事業補助金…………… 678万円	■まちの元気発信事業…………… 1340万円
■生活再建住宅支援事業…………… 670万円	■地域活力推進事業…………… 1000万円
■道の駅平泉農産物生産・出荷支援事業…………… 480万円	■妊婦・乳幼児委託健康診査(新規:産婦健診・新生児聴覚検査合) …… 699万円
■Jアラート新型受信機購入…………… 356万円	■消防団装備品・防火衣購入…………… 683万円
■県営農村地域防災減災事業負担金(北照井堰)…………… 164万円	■東稲山桜情景復活事業…………… 552万円
■県営かんがい排水事業負担金(東稲第2地区)…………… 120万円	■景観阻害要因除去助成事業…………… 500万円
■農家民宿開業支援事業(補助金)…………… 100万円	■国際交流員活用事業…………… 491万円
	■農産物検査、給食食材検査…………… 436万円
	■平泉町6次産業化促進支援事業…………… 400万円
	■放射線量低減化対策事業…………… 359万円
	■浄土の拠点施設事業…………… 284万円
	■店舗リフォーム補助金…………… 150万円
	■協働のまちづくり事業…………… 140万円
	■少子化・定住化事業…………… 117万円
	■新規作物導入支援事業…………… 90万円
	■結婚新生活支援事業…………… 60万円

一部事務組合等負担金

■消防事務委託負担金…………… 1億2955万円
■一関地区広域行政組合負担金(介護保険部門) …… 1億2653万円
■ ” (環境衛生部門) …… 1億2112万円
■給食事務委託負担金…………… 1011万円
■市町村総合事務組合負担金…………… 577万円
■岩手県自治会館管理組合設備更新負担金…………… 150万円

町債残高見込み

町債については、社会基盤や公共施設の整備などの財源として活用してきましたが、30年度末残高見込みは全会計合わせて86億4971万円で、町民1人当たりになると約112万円となります。

町債の活用にあたっては、将来の住民に過大な負担を残さないよう、財政運営の健全化に努めてまいります。

地方債現在高(見込み) (単位:万円)

会計別	平成30年度	平成29年度	比較
一般会計	457,008	460,376	△ 3,368
下水道事業特別会計	205,959	211,612	△ 5,653
農業集落排水事業特別会計	54,881	56,668	△ 1,787
簡易水道事業特別会計	53,403	50,434	2,969
水道事業会計	93,720	92,601	1,119
合計	864,971	871,691	△ 6,720

各会計別総括表 (単位:万円)

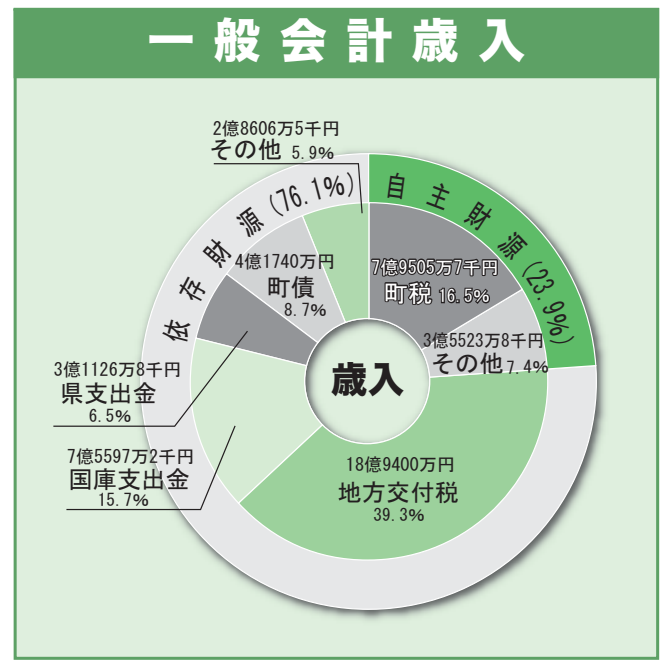
会計別	平成30年度	平成29年度	比較
一般会計	481,500	480,100	1,400
国民健康保険特別会計	80,290	99,470	△ 19,180
後期高齢者医療特別会計	8,440	7,950	490
健康福祉交流館特別会計	6,590	6,510	80
町営駐車場特別会計	7,420	6,160	1,260
下水道事業特別会計	31,300	34,690	△ 3,390
農業集落排水事業特別会計	7,860	7,350	510
簡易水道事業特別会計	0	20,510	△ 20,510
水道事業	3条予算 28,795	17,620	11,175
合計	33,088	16,400	16,688
合計	685,283	696,760	△ 11,477

※一般会計予算は修正議決後の予算額
 ※簡易水道事業特別会計予算は、平成30年度から水道事業会計へ移行

歳入

歳入を見ると、自主財源では町税や繰入金などの増額により、全体で11億5029万5千円と、前年度当初比2595万1千円の増額となりました。

依存財源では、国庫支出金および地方交付税の減額が見込まれ、全体で36億6470万5千円と、前年度当初比1195万1千円の減額となりました。



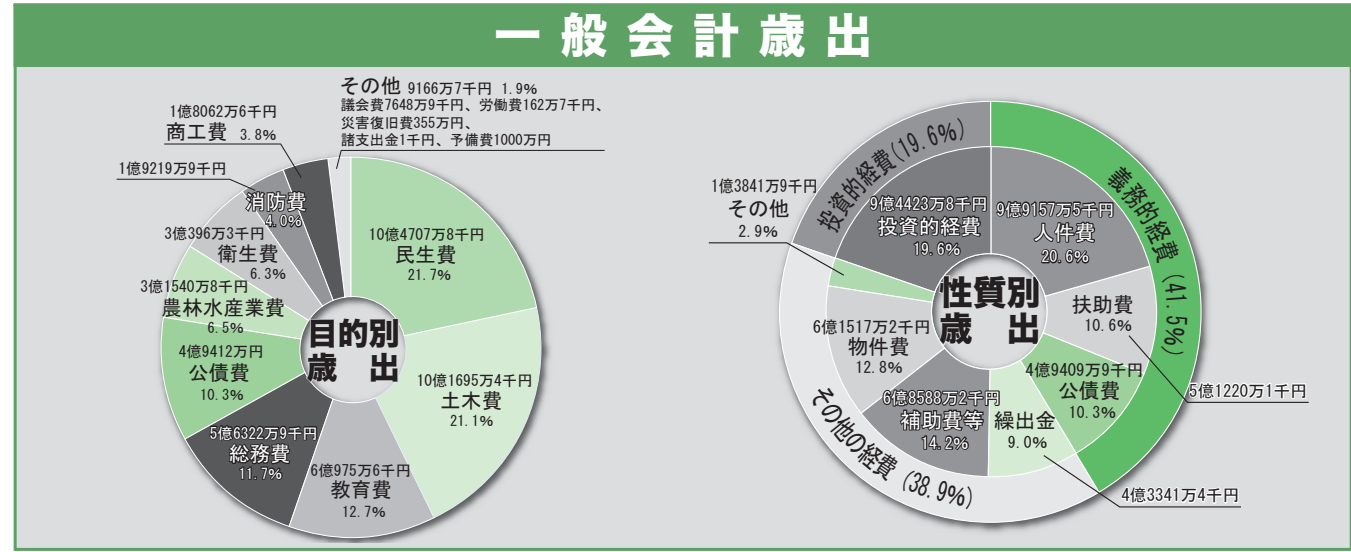
歳出

歳出を目的別に見ると、民生費が10億4707万8千円と最も大きな割合を占めています。次いで、土木費が10億1695万4千円、教育費6億975万6千円、総務費5億6322万9千円、公債費4億9412万円、農林水産業費3億1540万8千円、衛生費3億396万3千円、以下消防費、商工費と続きます。

性質別に見ると、投資的経費は、道路改良事業などの普通建設事業が9億4068万8千円、災害復旧事業が355

万円と、前年度当初比66万7千円の増額となっております。

義務的経費については、公債費は4億9409万9千円と前年度当初比1386万7千円の減額となりました。人件費は給与改定や職員数の増加により4455万7千円の増、扶助費は医療費助成の増などにより2016万8千円の増額となり、全体で19億9787万5千円と、前年度当初比で5085万8千円の増額となりました。



一般会計の町民1人当たりの予算額は622,093円(608,569円)となります。

民生費	土木費	教育費	総務費	公債費
135,281円(130,998円)	131,389円(97,954円)	78,780円(99,172円)	72,769円(68,359円)	63,840円(64,392円)
農林水産業費	衛生費	消防費	商工費	その他
40,750円(41,474円)	39,272円(37,924円)	24,832円(27,787円)	23,337円(28,784円)	11,843円(11,725円)

※平成30年3月1日現在の人口7,740人、()内は前年度の数値、平成29年3月1日現在の人口7,889人でそれぞれ計算(外国人住民を含む)